



自然、人々、そして天然ゴム

持続可能な天然ゴム生産の未来を確保するために

ゴーラブ・ギュプタ
サステナブルマーケットマネージャー
WWF ミャンマー

A pair of hands, one light-skinned and one dark-skinned, are shown holding a small, textured globe. The globe features a map of Myanmar in the center, with surrounding landmasses in shades of green and yellow, and oceans in blue. The hands are positioned as if presenting the globe, with fingers slightly curled around it. The background is a solid black color.

開発ビジョン:
グローバルコミュニティと融合した繁栄国家 (2030)
- ミャンマー国家総合開発計画

GROWTH

WILDLIFE & HABITATS

From small beginnings in 2014
our work has grown to

Forest

Wildlife

Freshwater

Natural
Capital

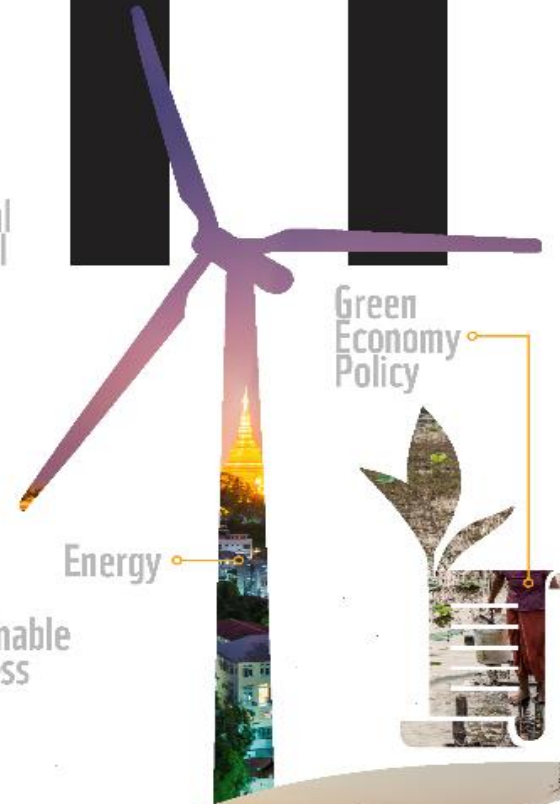
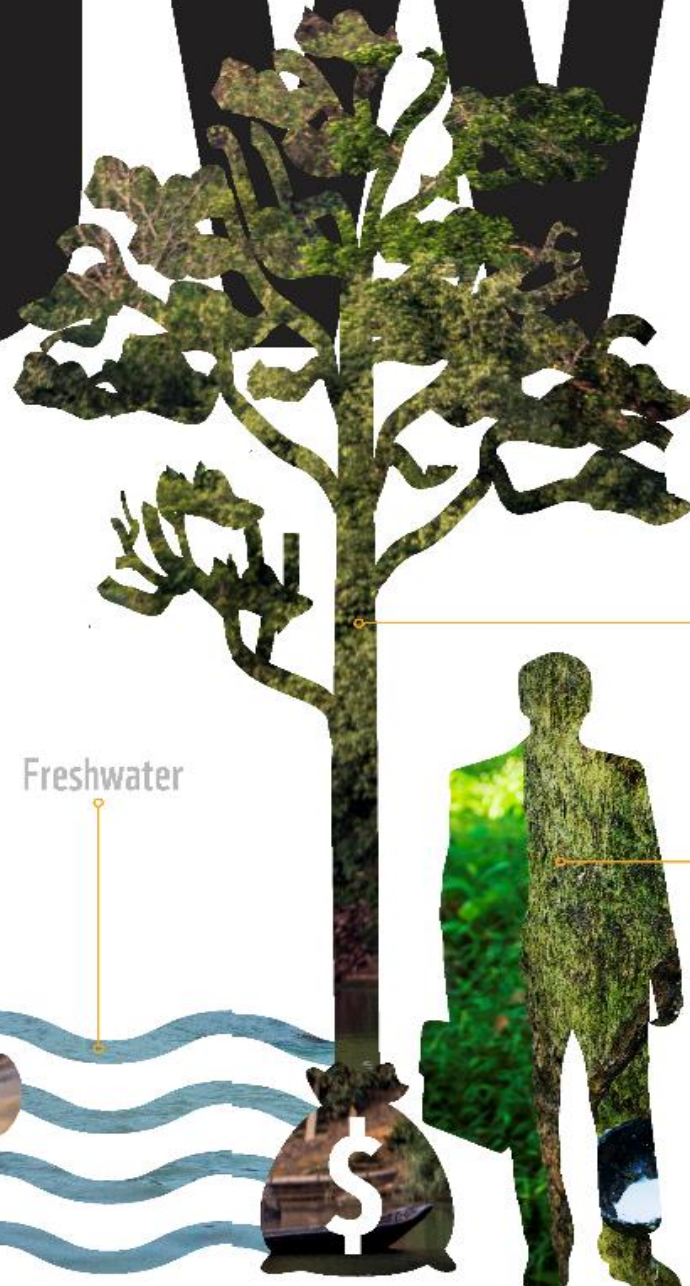
Energy

Sustainable
Business

Green
Economy
Policy

Smart
Infrastructure

GREEN ECONOMY





ダウナ・テナセリウム・ランドスケープ(DTL)

1000万ヘクタールを超える、東南アジアで最大の森林生態系



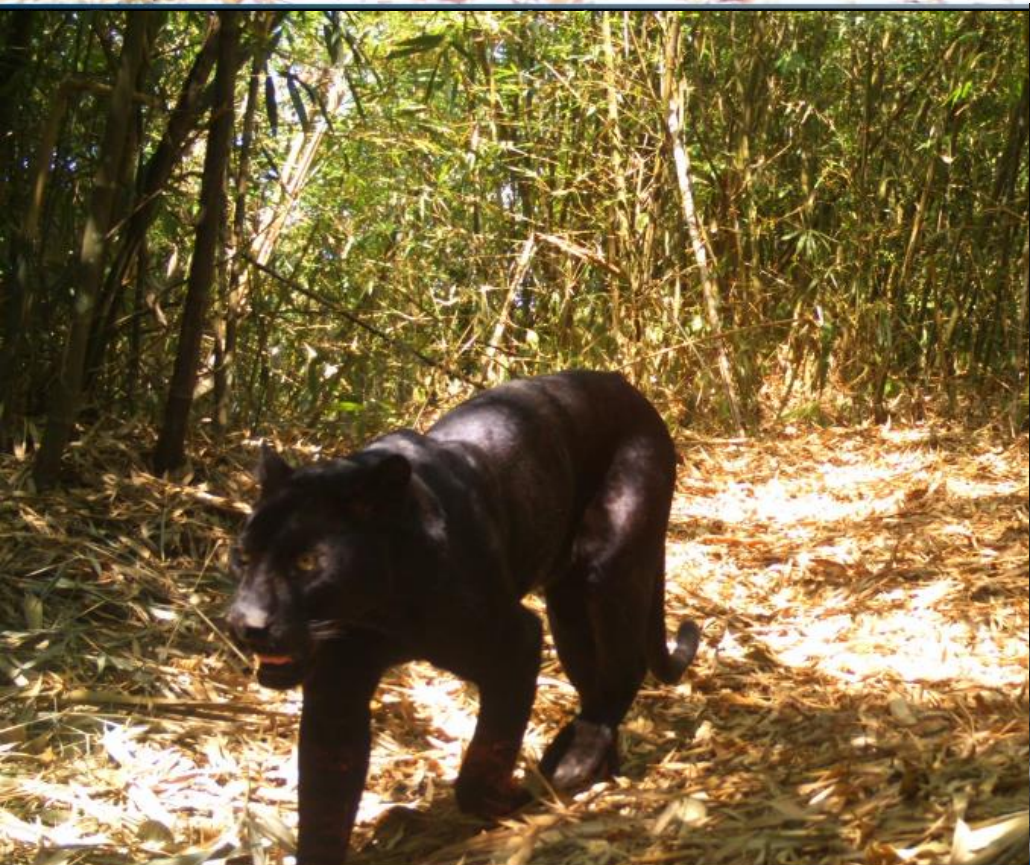
多様な民族が暮らす

- ・カレン族、モン(Hmong)族、リズ族、そして最大のモン(Mon)族
- ・高い文化的価値と伝統

トラの生息地

象徴種の減少をくい止めることが可能な、数少ない場所の一つ





4/5/2016 6:36 AM ID:44



3/14/2016 10:06 AM ID:15



3/22/2016 5:32 AM ID:35





自然林破壊の原因となる天然ゴム

- ・天然ゴム生産がDTLの森林にとって最大の脅威の一つ
- ・2000年以降、タニンタリ地域だけで10万haを超える高い保全価値の森林が減少

困窮する天然ゴム農家の生計

- アング・チャオの家族はDTLにある4haの天然ゴム農園で働いている
- モノカルチャー、市場へのアクセス、農業生産工程管理、資金力、集約化、交渉力の欠如

低品質と低付加価値

- 家族がラテックスから未燻製シートをつくるのを手伝う
- 子供たちは学校に通えない



非木材林産物（NTFP※）への依存の高まり

生計に苦しむ農家は非木材林産物をより利用する

近隣国へ販売される野生生物



天然ゴム価格が低ければ、農家はより
非森林資源を手に入れようとする

※NTFP=Non Timber Forest Products
非木材林産物

プロ密猟者にとって、より容易なアクセス

森林内、森林周辺での経済的活動が密猟を容易にする





天然ゴム生産は急速に増加

しかし、収穫量、質、市場へのアクセスは弱いまま

Year	Planted Area (Ha.)	Productive Area (Ha.)	Yield (Kg /Ha.)	Production (metric tons)
2005-2006	226,043	108,124	594	64,238
2006-2007	294,745	122,987	596	73,355
2007-2008	378,705	138,779	633	88,528
2008-2009	427,913	144,245	647	93,207
2009-2010	462,729	166,604	670	111,673
2010-2011	504,454	186,466	686	127,921
2011-2012	543,170	198,357	754	149,619
2012-2013	581,101	213,550	770	164,426
2013-2014	609,808	231,779	763	176,915
2014-2015	641,069	258,789	766	198,022
2015-2016	650,504	280,965	754	212,089

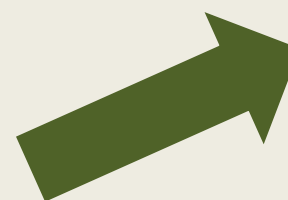
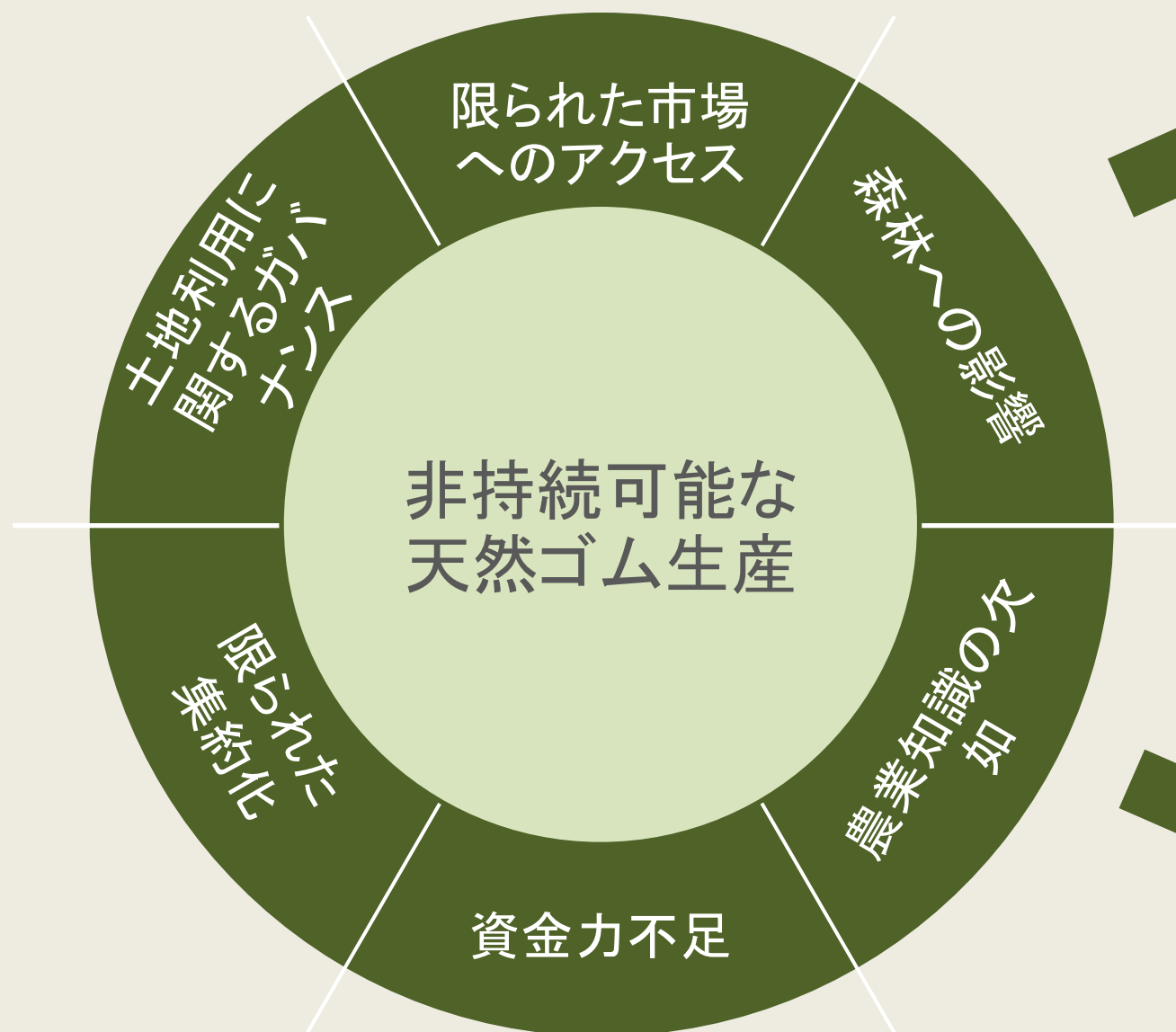
大部分が未収穫期。これは近年の農地拡大、森林破壊を意味している。

世界的に最も低い収穫量と品質

総生産量は2-3倍増加が予想



天然ゴム生産における持続可能性の問題とサプライチェーンへの影響



サプライチェーンにおけるリスク



持続可能性におけるリスク

解決策: 森林破壊と天然ゴム生産のデカップリング

- 大規模拡大の削減と生産性の向上
- 持続可能な天然ゴム生産
 - 森林破壊ゼロ
 - 人権、労働者の権利侵害ゼロ
 - ランドグラブゼロ、FPIC(Free Prior and Informed Consent)の遵守
 - トレーサビリティ、透明性

(ランドグラブ：強制的、あるいは問題のある大規模な土地取引)



天然ゴム アグロフォレストリー

2020年までにDLT内とその周辺のコミュニティ
が持続可能な方法で天然ゴムを生産

政策と計画

野生生物
と生息地



天然ゴム アグロフォレストリー

- ❖ 天然ゴムアグロフォレストリーについての技術的な能力（農地拡大、農業共同組合、研究機関）
- ❖ 大規模な集約化とコミュニティへの付加価値
- ❖ コミュニティによる森林破壊ゼロと密猟ゼロ宣言
- ❖ 大企業による持続可能な天然ゴム調達の需要

進捗:

- ❖ 収穫技術トレーニング: 20% の収穫量増
- ❖ 市民社会団体およびコミュニティとのコンサルテーション

タイ、プリンス・オブ・ソンクラー大学のブンチャ博士がミャンマー農業省に天然ゴムアグロフォレストリーについて説明





- ❖ 地域コミュニティによる土地利用計画と土地利用のガバナンス
- ❖ 保護価値の高い森林(HCVF)、高炭素蓄積地(HCS)および生物多様性にとって重要な地域(KBA)に土地利用権を許可しない
- ❖ 付加価値、集約化、ファイナンス、気候変動への対応

進捗:

- ❖ 天然ゴム法(案)が森林破壊ゼロを要求
- ❖ タイへのスタディツアー

政策と計画

農業省が森林破壊ゼロを宣言
(2016年11月16日)



なぜグローバル企業はミャンマーから持続可能な天然ゴムを調達すべきか

- 持続可能な天然ゴムサプライチェーンのベストプラクティスを証明する機会
- 持続可能な天然ゴムを推進する政府の強い意思
- 収穫量と市場へのアクセス向上はコミュニティの森林保全の動機付けとなる
- 天然ゴム生産における新興市場
- 持続可能な方法で天然ゴム生産を行うため、コミュニティや政府、その他のステークホルダーとの協働を合意



Gaurav Gupta
WWF Myanmar

Gaurav.gupta@wwf.panda.org